



# 志岐小通信 麟泉の風

校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」

令和5年度 6月20日 第3号 文責：栗原 克浩

## 天草一の運動会！！ ～身に付けた力を発揮～



「～するから見てて」という子どもには、自分の頑張りを認めてもらいたいという心理が働いており、その最大化したものが運動会です。運動会においては、児童は最大限に頑張りを認めてもらいたいという欲求も最大化します。だから、私たちもその頑張りを最大限に賞賛する必要があります。

この運動会には育成の種が無限にありました。競技、演技はもちろん、その前後の動き、係活動も含めて、練習で学んだことが隅々まで発揮され、非常に完成度の高

い内容でした。学校においては、児童の頑張りを「自信」、「友達との絆」、「集団行動の力」、「自主性」等の視点でしっかりと賞賛したところです。「行事を通して身に付けた力を生活に生かす」と言いますが、何を身に付けたのか児童本人が分からないと生かすことはできません。そこで、児童の頑張りを「身に付けさせたい力」の視点で賞賛することで、「身に付けた力」、「できるようになったこと」、「良さ」について自覚化を図りました。

運動会も終わり通常の教育活動を再開しました。これらの身に付けた力を使いながら、学習面と生活面でより質の高い成果を生み出したいと考えます。大変ありがとうございました。



## 「書のきまりを守る」、馬場先生の毛筆指導がスタート！

今年度志岐小で育成したい力の一つが規範意識です。先の運動会でも集団行動を通して育成を図りました。さて、「苓北町毛筆指導員」馬場先生の指導理念は、人間教育です。授業冒頭で唱和する「お習字の教え」は以下の通りです。

### 【お習字の教え】

お習字には、その人の心があらわれます。心が正しいと、文字も正しく書けます。正しい文字を書くと、心も正しくなります。

文字と心は表裏一体です。馬場先生は、単にきれいな文字を書くのではなく、毛筆指導を通して「毛筆の決まりを守ることによる規範意識の育成」等を目的とされています。だから、「志岐小指導の重点」と馬場先生の指導理念が全く同じものであり、教育効果の高まりが大いに期待できると考えます。

指導方法も大変理にかなない、初めに一斉に書き方のポイントの指導を行い、その後個別の添削により一人一人の改善を図られます。全体指導のポイントを守って書くことが、きまりを守ることにつながり、この点を大変重視して評価されます。だから、児童は自ずと「しっかり話を聞く」、場合によっては「メモを取る」、そして「良く意識して書く」ようになります。

「心と頭と文字が整う」価値ある毛筆学習です。馬場先生、今年もどうぞよろしくをお願いします。



## 【学校教育目標】

「自分大好き、友だち大好き、志岐小大好きと笑顔でいえる子どもを育てる」

～ふるさと『志岐』を愛し、地域に積極的に貢献する人材の育成～

### 「将来的な健康維持のために！」～給食試食会～

青年期に見られる成人病予防のためにも、学童期からの食育は大変重要です。1年生の保護者の方を対象に給食試食会を実施しました。児童は、保護者の方や職員と楽しく会話をしながら給食を食べました。

学校で食事に関しては、①栄養のバランスのとれた食事を好き嫌い無く食べる、②適切な量を食べる、③朝食をしっかりと食べるという3点について指導しています。お仕事等でお忙しく、家事の時間やゆとりがない中ではありますが、ぜひ児童の将来的な健康維持のために、上記の3点について、ご家庭でもご配慮いただきますようお願い致します。

また、コロナの出口にあたり実施した給食試食会において、PTAの保健給食委員会には給食配膳等にご協力いただき、大変ありがとうございました。



### 【7月の行事予定】

1	土	
2	日	
3	月	読み聞かせ低中 歴史講話高 漢字計算大会
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	ふるさと探訪教室(5年)
8	土	
9	日	
10	月	大掃除週間 読み聞かせ：低
11	火	地区児童会
12	水	
13	木	毛筆指導4年
14	金	巡回訪問
15	土	
16	日	
17	月	● 海の日
18	火	毛筆指導3年
19	水	
20	木	終業式
21	金	夏休み(～8/28 2学期始業式 8/29)
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	苓北部会水泳記録会(4年以上)
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

### 志岐小児童の体力の実態は？

児童の体力と運動能力の実態を知り、優れている点は伸ばし、課題については改善を図ることを目的に、新体力テストを実施しました。測定した運動能力と種目は次の8つです。



- ①走力(50m走)、②持久力(シャトルラン)、③跳躍力(立ち幅跳び)、④俊敏性(反復横跳び)、⑤投力(ボール投げ)、⑥柔軟性(長座体前屈)、⑦腹筋力(上体起こし)、⑧握力(握力測定)。

運動場・体育館・ホールの各測定場において、下の学年と上の学年でペアを組み実施しました。学校での体育の授業・休み時間、家庭での生活習慣の全般が測定結果に反映されます。

昨年度の学校全体の課題は、俊敏性と柔軟性であり、「志岐小補強運動事例集」を活用し、授業の冒頭において3分間程度、継続的に柔軟運動に取り組んできました。今年度の体力テスト結果でその改善を期待しているところです。